

2003 年度研究発表会プログラム

10月3日 第一会場

セッション A: 戦略的環境アセスメント (10:20 ~ 12:00) 司会: 原科幸彦	
A-1	埼玉県における戦略的環境アセスメントの制度化の現状と課題 村山武彦 (早稲田大学)
A-2	立地位置選定手法としての計画アセスメントに関する一考察 ~ 千葉県柏市第二清掃工場を事例として ~ 籠義樹 (麗澤大学)
A-3	地理情報システム (GIS) と戦略的環境アセス ~ インターネット GIS による立地選定支援について ~ 青山貞一 (武蔵工業大学)、鷹取敦 (環境総合研究所)、福井弘道 (慶応義塾大学)
A-4	戦略的環境アセスメントへの GIS の有用性の考察 高岸且、盛田彰宏、秋島重樹 (㈱パスコ)、豊永竜二 (高知県文化環境部)

シンポジウム (14:00 ~ 16:30) 司会: 倉阪秀史	
基調講演	方法書のあり方を問う 島津康男 (環境アセスメント学会長)
事例 1	方法書段階における住民参加と事業者の説明責任 田中順一、宮城保大 (㈱南西環境研究所)
事例 2	「軍民共用空港」建設計画に係る環境影響評価における市民からの「方法書」について 宮城康博 (名護市議会)
事例 3	木曽川右岸道路 (南部ルート) 建設事業に係る環境影響評価方法書について 山岸敬於 (長野県生活環境部)
パネル ディスカッション	コーディネータ: 倉阪秀史 (千葉大学) パネラー: 島津康男、田中順一、宮城康博、山岸敬於、浅野直人

10月3日 第二会場

セッション B: 社会影響 (10:20 ~ 12:00) 司会: 柳憲一郎	
B-1	藤前干潟の保全とあらたな課題 辻淳夫 (藤前干潟を守る会・日本湿地ネットワーク代表)
B-2	2002 FIFA ワールドカップ決勝戦における環境パフォーマンス評価に関する研究 石田祐一、御船直人 (東京工業大学)
B-3	環境総合指標による地域環境計画の目標管理に関する研究 中口毅博 (芝浦工業大学)
B-4	持続可能な社会形成のための世代間の環境情報交換 - 屋久島における住民参加ワークショップの事例 - 錦澤滋雄、田中克佳、原科幸彦 (東京工業大学)

10月4日 第一会場

セッション C: 国際関係 (10:00 ~ 11:40) 司会: 松本郁子	
C-1	国際協力銀行の新環境ガイドライン作成の意義と展開 原科幸彦 (東京工業大学)
C-2	貿易自由化の環境評価について - 海外の動向を中心に - 中島恵理 (経済産業省)、林希一郎 (㈱三菱総合研究所)
C-3	貿易自由化協定に関する環境影響評価手法 - 日韓に関する事例分析の速報 - 林希一郎、宮原紀壽 (㈱三菱総合研究所)、中島恵理 (経済産業省)
C-4	開発途上国における新たなサニテーションシステムの導入について 入江光輝 (科学振興事業団)、牛島健 (東京都立農業高校)、石川忠晴 (東京工業大学)

セッション E:自然環境(13:00~17:00) 司会:夏原由博	
E-1	共生的生物間相互作用による生態系モニタリング手法 -草原の送粉共生系を例に- 中野千賀、鷲谷いづみ(東京大学)
E-2	沢田湿地におけるオゼイトトンボ生息地保全対策の個体群存続可能性分析による評価 藤原宣夫、石曾根敦子、長濱庸介(国土技術政策総合研究所)、裏戸秀幸(株)地域環境計画)、 今井一隆、半田真理子((財)都市緑化技術開発機構)
E-3	食物連鎖における上位種の餌量からみた定量的影響予測の試み 依昌芳(イー・アンド・イーソリューションズ株)、赤堀文則(東京電力株)、小川直司(東電 環境エンジニアリング株)
E-4	ハビタット適性指数(HSI)モデルの構築の取り組み -トウキョウサンショウウオのHSIモデルの 再構築事例を中心に - 小松裕幸、雨嶋克憲、上杉章雄、岡田圭司、栗原彰子、松岡明彦、諸藤聡子、伴武彦((社)日本 環境アセスメント協会)、田中章(武蔵工業大学)
E-5	極浅海域における環境機能の定量評価手法 鈴木輝明(愛知県水産試験場)
E-6	人工干潟造成によるミチゲーション 藤原俊介、矢持進(大阪市立大学)
E-7	米国ミティゲーションバンキングにおけるクレジット評価方法の現状 田中章(武蔵工業大学)
E-8	総合討論:生態系アセスメントにおける定量評価のあり方とその展望(その2) 司会:畠瀬頼子(自然環境研究センター)、田中章(武蔵工業大学)

10月4日 第二会場

セッション D:地理情報モニタリング(10:20~12:00) 司会:浅見泰司	
D-1	数値シミュレーションとGIS地形データ -公共数値地図情報の活用 - 沢野伸浩(星稜女子短期大学)
D-2	迷惑施設の立地適性に関する数理的考察 片岡裕介(東京大学)、及川清昭(立命館大学)、浅見泰司(東京大学)
D-3	山間地における騒音調査対象地域選定に関する課題 圏央道八王子ジャンクション計画地における 中央自動車道の影響調査の事例 鷹取敦(環境総合研究所)、青山貞一(武蔵工業大学)
D-4	気球とビデオを利用した沿岸域の環境モニタリングの試み 重松孝昌、小池敏也、矢持進(大阪市立大学)

セッション F:予測評価技術(13:00~15:05) 司会:伊藤勝	
F-1	新旧北上川感潮域における低水時流量配分変更に関する基礎的検討 工藤健太郎(東京工業大学)、早坂裕幸(国土環境株)、石川忠晴(東京工業大学)
F-2	各種の環境影響評価事例に基づく維管束植物種の絶滅リスクの算定とLCAへの活用 安部和子、井伊亮太(パシフィックコンサルタンツ株)、伊坪徳宏、稲葉敦(産業技術総合研究所)
F-3	環境アセスメントのための評価法 -振動に関する国際的な評価法 - 塩田正純(芝浦工業大学)
F-4	評価書段階における環境影響予測の事後調査結果からみる問題 久世晃弘、原科幸彦(東京工業大学)
F-5	点廃棄物焼却施設建設に係る環境影響評価書における大気への影響の取り扱いについてのイギリ スと日本の比較 清水谷卓(株)イーエムエスアイ)

セッション G:合意形成(15:20~17:00) 司会:村山武彦	
G-1	公共事業の意思決定における専門家 日野明日香(東京大学)
G-2	環境アセスメント事例に見る事業者の情報交流の対応について 平賀俊彦(東京工業大学)
G-3	環境アセスメントのフォローアップへの住民関与と規定の効果 安藤毅男(三井情報開発)、錦澤滋雄、原科幸彦(東京工業大学)
G-4	市民参加の手法としての円卓会議方式 -三番瀬円卓会議アンケート結果をふまえて - 倉阪 秀史(千葉大学)